



第3回 いいでしょこのまち賞

平成 21 年度（2009 年度）吹田市景観まちづくり賞
受賞作品集

主催 ● 吹 田 市

後援 ● 大阪美しい景観づくり推進会議
（社）大阪府建築士事務所協会
（社）大阪府建築士会



70年 輝く吹田 ゆめ未来
ことし、吹田市制は70周年を迎えます。

ごあいさつ

歴史を感じさせる風格あるまちなみや豊かな緑など、地域らしさを備えた魅力ある景観は、日々の生活の場をゆとりある快適な空間にしてくれる共有の資産です。その資産を、大切なものとして次代に伝えようとする営みを通じ、人々の心に地域を愛する気持ちが世代を超えて育まれていきます。

こうしたことから、本市では、吹田らしさをいかした豊かで美しいまちを「まもり、つくり、はぐくむ」ための指針として、平成19年(2007年)3月に「景観まちづくり計画」を策定しました。さらに、その実現のため平成21年(2009年)4月には「景観まちづくり条例」を施行し、市民、事業者、専門家等の皆様との協働により、地域の個性をいかした質の高い景観の形成や、快適な生活環境の創造に努め、本市の将来像「人が輝き感動あふれる美しい都市(まち) すいた」の実現をめざしているところです。

「いいでしょこのまち賞」は、景観まちづくりに寄与する優れた事例を顕彰することにより、市民、事業者の景観まちづくりに対する意識の高揚と景観の質の向上を図ることを目的としたもので、3回目を迎え「都市景観賞」の名称を「景観まちづくり賞」としました。このたび、景観まちづくり審議会委員の皆様による選考の結果、「まちなみ部門」4件、「はぐくみ部門」3件の受賞を決定いたしました。受賞されました方々には心よりお祝い申し上げます。

なお、ご推薦のあったまちなみや活動の質の高さはもとより、皆さまからいただいた推薦理由の着眼点の素晴らしさをとりましても、景観に対する想いの熱さや意識の高まりを改めて実感いたしております。審議会委員をはじめ、ご推薦いただきました方々など関係皆様に厚くお礼申し上げますとともに、本市の景観まちづくりへの一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

吹田市長 阪口善雄

吹田市景観まちづくり審議会委員名簿(選考委員会委員)

会長 鳴海 邦碩(選考会座長)	学識経験者
大阪大学名誉教授	(都市計画・都市環境デザイン)
副会長 久 隆浩	学識経験者
近畿大学理工学部教授	(まちづくり・景観計画)
秋月 有紀	学識経験者
富山大学人間発達科学部准教授	(住居学・建築環境工学)
岡 絵理子	学識経験者
関西大学環境都市工学部准教授	(建築)
上南木 昭春	学識経験者
大阪府立大学大学院教授	(緑地計画・地域生態工学)
中田 誠	
独立行政法人都市再生機構西日本支社 事業者代表 技術監理部長	
高木 久美子	企業市民代表
吹田商工会議所常議員	
森下 嘉弘	行政機関代表
大阪府住宅まちづくり部建築指導室 建築企画課課長補佐	
小林 俊範	市民委員
佐竹 鐵也	市民委員



魅力ある景観とまちづくり

鳴海邦碩

今回、景観まちづくり賞の審査のために、久しぶりに吹田市のほぼ全域を見て回るようになった。現在の吹田市の人口は35万人で、市域の広がりには36平方キロメートルである。これは、千里ニュータウンが3つほど合わさった広さである。

吹田の歴史は古くそして新しい。「すいた」はもともと「すきた」で、「すき」とは古代の朝鮮半島南部の言葉で「村」を意味し、「すきた」は「村の田」のことであったという。そういう古代の名残から、万博公園に代表されるような現代遺産まで吹田市にはある。

吹田市の市街化の歴史を見ると、明治時代には、山田、佐井寺、榎坂、岸部などの集落があり、やがて内陸型の工場立地が進み、大正になって国鉄吹田操車場や千里山の郊外住宅地の開発などが行なわれた。戦後間もなくは、南部のJR吹田駅周辺が中心的な市街地だったが、昭和40年ごろから急速に市街化が展開し、今日は市のほぼ全域が市街化されている。こうした町の歴史が、吹田市の多様な景観に反映されている。

さて、まちづくりの目的は、「まちが生き生きと生き続けるようにすること」だと思う。それでは、まちづくりの目標をどのように設定すればいいのだろうか。私は、「都市の魅力の形成」という観点が見えやすいのではないかと考えている。都市の魅力は、住む人にとっての魅力、働く人にとっての魅力、それから訪問する人、遊びで訪れる人にとっての魅力、この3つの視点で捉える必要がある。

環境の魅力は五感でとらえられるわけだが、なかでも視覚の果たしている役割は大きい。視覚でとらえられた環境、それは「見える環境」つまり「景観」である。魅力のある環境づくりが、魅力のある景観づくりなのである。

普段私たちは、街を歩いていても、その環境が当たり前そこにあってしか思っていない。しかしながら、今回、審査のために見て回って、「見える環境」には、必ず誰かが関わっていることを改めて知ることになった。魅力のある環境は、誰かの努力によって支えられているのである。

新しい建物には設計者や注文主の意向が、古い建物にはそれを維持管理する人の努力が、街角の緑にはそれを育てる人の手作業が、街の魅力の再発見や情報発信には街に対する愛着が、それぞれに存在している。その意味で、あなたも魅力のある景観づくりを担っている可能性があると思う。

高町台住宅のまちなみ

山田西3丁目22

開発時の整った建物デザイン、緑の配置に加え、開発から10年近く経つ中で、きれいに花や緑が維持されているのはお住まいの皆さんの継続的な活動によるもので、生活を楽しんでいる温かい雰囲気が伝わってきます。吹田市のように市街化された土地に見合う優れた戸建住宅地の景観として、高く評価されました。

受賞 高町台住宅地自治会



旧岸部東村のまちなみ

吹田市岸部中4丁目から5丁目界限

歴史的な道筋を今に伝えており、特に水路の景観が維持されています。

前回、特別賞を受賞しましたが、周辺で開発が進む中で、この界限のまちなみを残していくことは吹田市の歴史を伝える大きな意味があり、地域住民の努力が高く評価されました。

受賞 岸部東町自治会



公益社 千里会館

桃山台5丁目3-10

施設の機能から沈みがちな雰囲気、洗練されたデザインと緑の豊かさで演出するとともに、敷際での緑化や見え方にも配慮し、周辺の閑静な住宅と調和させています。住宅用途以外の質の高い建物景観として、高く評価されました。



受賞 所有者：燦ホールディングス（株）
 設計者：（株）遠藤剛生建築設計事務所
 施工者：清水建設（株）大阪支店



グランドメゾン千里山西

千里山西3丁目5-12

セットバックした建物配置や、敷際での緑化、きめ細かなデザインにより、周辺の戸建住宅に配慮するとともに、千里山の風格ある住宅地景観に調和しています。質の高い集合住宅の景観として、高く評価されました。

受賞 所有者：グランドメゾン千里山西管理組合
 事業者：積水ハウス（株）大阪マンション事業部
 設計者：（株）日建ハウジングシステム
 施工者：（株）藤木工務店



吹田歴史文化まちづくり協会の活動

活動場所：浜屋敷界隈を中心
(南高浜町 6 - 21)

保全・再生した古民家の施設運営を担いながら取り組む文化・交流活動は、吹田市の歴史に関する景観まちづくりへの効果が大変大きく、高く評価されました。

受賞 特定非営利活動法人
吹田歴史文化まちづくり協会



神崎川畔企業連絡会の活動

活動場所：神崎川畔

地元企業が美観に取り組む活動として評価できるとともに、地域住民も参加しやすい環境づくりを行っています。企業と住民が一緒になった吹田市の水辺の景観づくりとして、高く評価されました。

受賞 神崎川畔企業連絡会



すいた市民環境会議の活動

活動場所：市内全般

自然環境や歴史など、吹田市の環境に関わる多面的な活動が展開されています。中でも「あलック吹田」は、市民が実際に歩いた目線で収集した景観や自然といった様々な情報を掲載しており、高く評価されました。

受賞 特定非営利活動法人すいた市民環境会議



選考委員からのメッセージ

岡 絵理子

吹田のような人々が作りあげた「まち」に、美しい景観や景色ができるためには、その景観をつくる建物や外構などをデザインした方、その景色をつくるためにお金を出した方、その景色を守るために活動している方々が必要となります。この「吹田市景観まちづくり賞」もそのような方々が表彰されています。しかし、美しい景色に関わっておられるのはこのような方々ばかりではありません。美しい景色は、通過する人やその「まち」に暮らす人々にとって、ちょっと不自由だったり、不便だったりということも往々にしてあります。例えば、旧岸部東村の狭い道に沿った手すりのない水路や高町台のヒューマンスケールの道路など。しかし、このようなちょっと困ったところが美しい景観・景色の重要な要素であり、人々の心に残るのです。この「吹田市景観まちづくり賞」は、ちょっと我慢しながら、ちょっと気をつけながら、町を通る人々や暮らす人々にも深い感謝の気持ちを込めて贈りたいと思います。

上甫木 昭春

まちなみ部門、はぐくみ部門とも興味深い事例が多く、充実した1日を過ごさせて頂きました。特に、まちなみ部門について受賞した事例についてみると、設計者による大地の読み取りによる建物配置や壁面の凹凸、周辺景観との調和を目指した敷地のセットバックや緑化などが見事でした。さらに、住宅地において開発時に設計者によりある意図をもって設置された空閑地に、居住者自らが草花を植え、きめ細かに管理している状況が、住宅地全体の取り組みとして確認された事例は、狭小宅地での生活環境の質を高める好事例といえるでしょう。さらに、歴史的まちなみにおいても、時間経過の中で居住者あるいは地域の生業に係わる水路などの風景要素が維持されていることが特筆されます。以上のように、良好なまちなみは、「設計者の仕掛け」、「居住者の取り組み」、「時間の経過」のコラボレーションによるのだということを再認識させられた選考委員会でありました。

中田 誠

今回、久しぶりに千里ニュータウンをはじめ各所を訪問した。変わらない場所、大きく変貌した場所、知らなかった場所、随所に発見があり、また思い出がよみがえった。丘陵地の地形や道路形態に対応して、そこの景観に加えられた剛・柔、静・動、人の手の跡や息づかいが私達の五感に働きかけるかどうか、そんな期待で審査に臨んだ。

「高町台住宅」はデベロッパーの企画の妥当性も高かったのだろうが、居住者みんなでまちづくりの考え方を共有し楽しんで暮らしている様が木々や草花の手入れの状態にうかがわれた。長く継続されるようエールを贈りたい。

旧岸部東村には今後のまちづくりへの期待をかけた。

高木 久美子

今回、景観まちづくり賞の選考の機会を頂き、大変嬉しく思っています。

まず最初の気づきは、建物のデザインの良し悪しよりも、環境との調和や配慮の気持ちが、人を感動させるという事でした。

そこに集う人々の生活を大切に思う気持ちが、建物の質にも表れていた様に感じました。計算され尽くされたフォルムの美しさは、人に対する思いやりからくる美学だと思います。特に公益社千里会館の美しさは、その建物が本来持っている悲しみや重さを浄化させてしまう程です。

また、吹田市には旧庄屋屋敷も残っています。皆様のご努力に心から感謝申し上げます。これからも、周辺の方々の建物も含め、歴史あるまちなみとして残して頂きたいと思っております。

すばらしい環境が、素晴らしかった環境にならない為にも、私達一人一人の他人に対する小さな思いやりや、行動が必要だと感じました。

佐竹 鐵也

今回の景観まちづくり賞はいずれも市民生活に密着した物件ばかりである。生活環境の進化に伴い変貌していくことが予測されるが、どうか市民の皆様方の吹田市の美しいまちづくりに理解をいただきご協力を願うものである。吹田市の景観担当の方のよりよきご指導を期待したい。

小林 俊範

私にとって選考委員は初めての経験であったので、候補物件を観て回った時は真剣に判断に努めた。第2次選考会で選ばれた物件はいずれも適正妥当なものであったと思う。

私が特にすぐれた景観（まちなみ）と判断したのは、新しいものでは公益社千里会館であり、古いものは旧岸部東村の中西邸とほかの2つの家屋だった。前者は葬儀場であるが、それとは思えない洗練されたものである。デザイン、色調ともに美しく、北側の戸建住宅とも調和していた。2年前大阪府知事賞を受賞したのも当然だったと思ったのである。

一方、古い建物は中西邸だった。外観上門塀、屋敷が全部徳川時代の大庄屋の風格を示す堂々たるものである。中西邸の近くに同じく庄屋だったと思う古い屋敷が2つあった。乾（北西）に蔵があり、武者窓も付いていた。残念なのは、この3つが連続したまちなみを形成せず、三者間に新しく小さな住宅が点在することだった。

森下 嘉弘

吹田市内での住民の方によるまちづくり・景観づくりの取り組みが非常に活発であることに驚かされました。はぐくみ部門では、最終的に、浜屋敷をはじめとした歴史資源の保存活用や広く市民へのPRなどを通して歴史の景観まちづくりに大きく貢献されている「吹田歴史文化まちづくり協会」、地元企業が中心となり神崎川の環境改善や景観向上に大きく貢献している「神崎川畔企業連絡会の活動」、観光用冊子の編集、大木調査など地道な調査研究やタウンウォッチングなど、多面的で幅広い取り組みをされておられる「NPOすいた市民環境会議」の3団体の活動が表彰を受けましたが、千里市民フォーラムや千里山まちづくり協議会の活動も、千里NTや千里山周辺といった地域に根ざした住民によるきめ細やかな取り組みとして、いずれも高く評価できるものでした。吹田市民の皆様のみならずのご活躍を期待しております。



受賞物件マップ



今までの受賞作品・活動

第1回平成12年度(2001年度)開催

作品：アメニティ江坂、アサヒビール吹田工場、
ミスタードーナツカレッジ、神戸屋レストラン吹田内本町店、
大同生命江坂ビル、江坂企業協議会
活動：協定アドプト・ロード・たかはま、佐竹台3丁目地区建築協定、
桃山台3丁目第二建築協定
特別賞：山田旧集落のまちなみ

第2回平成14年度(2002年度)開催

作品：大林組花壇寮、関西大学正門(秀麗橋)、
アサヒビールの緑とサイン、ダスキン誠心館
活動：旧庄屋敷敷保存活用会、千里山のみどりの協定
特別賞：内本町2丁目のまちなみ、旧岸部東村のまちなみ

●選考のあらまし

◆表彰の目的

市民、事業者の景観に対する意識の高揚と景観の質の向上を図ることを目的とする。

◆表彰の対象

- ① まちなみ部門－周辺と調和した潤いのある景観をつくりだしている建築物、工作物、屋外広告物その他の物件及びそれらの一体化したもの
 - ② はぐくみ部門－景観のイメージアップに継続して取り組んでいる個人又は団体の活動
- ※ただし国及び地方公共団体のもの、また自然物、歴史的建造物等は対象から除く。

◆賞の選考

市民等から推薦を募り、吹田市景観まちづくり審議会委員が選考し、市長が決定する。

◆推薦方法

所定の推薦用紙、はがき又は電子メールに必要事項を記入して、郵送又は持参。
自薦・他薦は問わない。

◆推薦期間

平成21年(2009年)9月1日(火)
～9月30日(水)

◆推薦状況

推薦総数 63件
推薦数 まちなみ部門 45 物件
はぐくみ部門数 10 活動

◆選考基準

○まちなみ部門

- (1) 歴史的景観又は自然的景観の保全に寄与するもの。
- (2) 新しい景観の創造に資するもの。
- (3) その他景観まちづくりに特に寄与するもの

○はぐくみ部門

景観まちづくりに関する活動の功績が顕著であること。

●表彰式

平成22年(2010年)2月27日(土)
午前10:00～11:30
メイシアター小ホールにて

○プログラム

表彰式典
同時開催：景観パネル展示ほか